

1 貧困をなくそう



◀ ゴール1 ▶

ひんこん 貧困をなくそう

世界の主な目標

- あらゆる場所のあらゆる貧困を終わらせます。
- 各国で最低限の生活ができるよう対策を実施するほか、開発途上国に対する開発協力を強化し、必要な資源の提供などを行います。

日本の状況

- 日本でも約6人に1人が「相対的貧困」と言われており^{注1}、無関係ではありません。



名古屋市の取り組み例

れい
チェック
だい!

- 家庭環境に恵まれない子どもや適切な養育が受けられない子どもへの支援を行っているよ。
- 誰もが意欲を持って働くことができるよう、生活に苦しい人などをサポートしているよ。

注1:厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」に基づく。

マンガで学ぶSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは世界の国々が一緒に決めた17のゴール。

一つ目は貧困をなくす。世界の貧困をなくすことはもちろん必要ですが…



日本でも、国全体の生活水準と比べて明瞭、社会の時間に発表する。



1 貧困をなくそう

どんな目標？

- 世界からあらゆる貧困をなくす

考えるためのキーワード

- 子どもの貧困
- 相対的貧困
- フードバンク



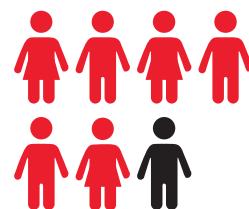
子どもの貧困

Q: 子どもの貧困は開発途上国だけの問題だよね？

A: 日本人の平均的な生活水準の半分にも満たない「相対的貧困」の人が増えており、日本でも7人に1人にあたる約270万人の子どもたちが、また、ひとり親家庭の約半数が相対的な貧困状態にあると推計されています。こうした人々は、栄養バランスの取れた食生活ができない、教育を十分に受けることができないなどの問題があり、格差の解消が課題となっています。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: これから的人口減少社会においては、一人ひとりが「自ら働いて人間らしい生活を営める」ことが不可欠です。そのためには、誰もが働きがいのある仕事に就くことや、子どもの貧困に対しては、地域コミュニティ同士で子どもを見守るなどの助け合い、支え合いの社会を実現することが大切です。



日本の子どもの貧困
約7人に1人

フードバンク

Q: 食べものにも困っている人を助ける活動があると聞いたけど？

A: フードバンクは、様々な理由で捨てられている賞味期限内の食品を、食べものに困っている人や施設に無料で届ける活動です。現在、全国で約80の団体が活動しており、食品を提供する企業と協働して、主にホームレス支援団体や児童養護施設、貧困家庭の子どもなどに届けられています。企業にとっては、社会的責任(CSR)を果たす活動の一環として、フードバンクと協働することで食料を本当に必要としている人への提供が可能になります。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 余っている食べものをフードバンクに提供することで、誰もが食べものに困っている人たちへの支援者になります。また、ボランティアや寄付による支援もできます。フードバンクが「食」の部分で支援できれば、福祉施設や団体は、浮いた費用を本来の活動に充てることができます。必要な分の食べものを届けることで、健康な体づくりや食品ロスを少なくすることにも貢献しています。



考え方!
やってみよう!
SDGsアクション

- 子どもの貧困について考えてみよう
- フードバンクの活動に参加してみよう



目標1 愛知×SDGsアクション フードバンク活動

認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋は、名古屋市を中心に東海地方で活動するフードバンク団体です。東海地方における「食のセーフティネット」構築を目指して2008年から活動を続けています。

●ホームページ: <https://www.2h-nagoya.org/>

